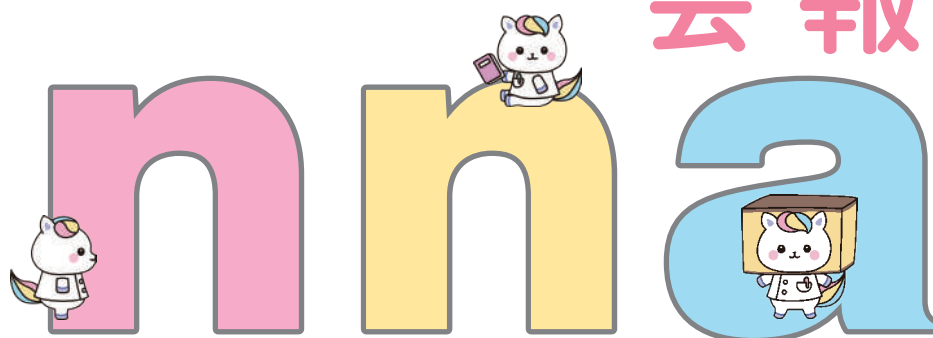




発行所：
公益社団法人 長崎県看護協会
〒854-0072
長崎県諫早市永昌町23番6号
TEL (0957) 49-8050(代)
FAX (0957) 49-8056
発行責任者：日野出悦子
印刷：株式会社クラフィット

nagasaki nursing association

令和7年度通常総会を終えて	2
令和7年度三職能委員会活動計画	4
災害支援ナース交流会報告	5
特定行為研修修了者のお仕事紹介	6
地区支部だより	8
看護の出前授業 取材してきました	10
病院紹介 サン・レモ リハビリ病院	12

理念

人々の心が和む
温かな医療・保健・福祉サービスを提供し、
地域に貢献します



通常総会

開催日 令和7年6月21日(土)

場 所 本 会 場 ながさき看護センター
支部会場 下五島、上五島、杵岐、対馬
(オンライン配信)



通常総会を終えて



会 長
日野出 悦子

6月21日(土)ながさき看護センターにおいて、令和7年度公益社団法人 長崎県看護協会通常総会を開催いたしました。総会には、大石賢吾長崎県知事をはじめ諫早市長(代理)、森崎正幸長崎県医師会長、久米春代長崎県看護連盟会長、他関係団体の皆様をお招きし、式典を開催しました。総会の出席者は、委任状提出者も含め7,788名でした。会員の皆様、ありがとうございました。

私の挨拶の中で、6月11日に開催された日本看護協会通常総会において公表された「看護の将来ビジョン2040」について触れ、新たなビジョンでは、看護職ひとり一人のウェルビーイングの重要性が明確に打ち出されたことをお伝えしました。看護職の確保が厳しい状況の中、看護職が活躍する基盤として、健康で安全に充実感を持って働けるよう、看護職自身のウェルビーイングを大切にお互い尊重することの意識を持つことが大事であること、ひいては、人のいのちとくらしを守るための安心安全な看護の提供に繋がることを強調いたしました。

その後、6名の方の叙勲等の受賞(章)報告と39名の方々への長崎県看護協会長表彰を行いました。

報告事項では、令和6年度の事業と決算及び監査の報告、令和7年度の重点目標・重点事業並びに事業計画と収支予算を報告いたしました。議事につきましては、会場参加の会員の皆様から、質問並びに協会事業の運営に関する多くのご意見をいただきました。会員の皆様からいただいたご意見は、協会の今後の事業活動と運営にしっかりと活かし、会員の皆様に還元できるよう、取組んでまいります。なお、質問並びに意見については、「協会だより7月号」に既に掲載しております。

また、総会当日、長崎県看護協会公式ラインのご紹介をさせていただきました。ラインを通して、本協会の日々の活動や事業の紹介を随時行い、魅力ある看護協会に発展させることを目指していきますので、会員の皆様、是非、ご登録いただきますようお願いいたします。令和7年度も、本協会の理念に則り、県民の健康な生活実現に寄与できるよう、皆様からのご意見をいただきながら事業推進してまいりますので、会員の皆様の更なるご理解とご協力をいただきますようお願いいたします。どうぞよろしくお願いいたします。



受賞(章)者一覧 ～おめでとうございます～

※敬称略

令和7年春の叙勲 瑞宝双光章

小 淵 美樹子

令和7年度 日本看護協会長表彰

小 淵 美樹子

令和7年度 看護事業功労者知事表彰

金子 和美 小 淵 美樹子
中 村 清 美



令和7年度 長崎県看護協会名誉会員

上 田 美知恵 小 川 由美子
副 島 都志子



▲山口ミユキ名誉会長

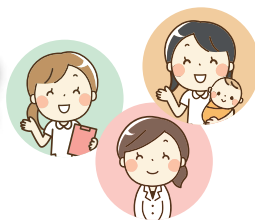
令和7年度 長崎県看護協会長表彰

赤 星 衣 美	(長崎大学病院)
妹 川 美 智	(長崎大学病院)
岩 永 由美子	(長崎みなとメディカルセンター)
岩 永 良 子	(長崎大学病院)
植 野 奈美子	(菅整形外科病院)
大 畑 直 子	(JCHO諫早総合病院)
大 畑 美 佳	(北松中央病院)
尾 崎 由 美	(耀光リハビリテーション病院)
片 岡 啓 子	(長崎みなとメディカルセンター)
金 子 和 美	(長崎県看護協会訪問看護ステーション)
桑 宮 由美子	(長崎みなとメディカルセンター)
小橋川 直 美	(長崎大学病院)
小 淵 美樹子	(長崎大学病院)
白 壁 フミ子	(北松中央病院)
鈴 島 久美子	(長崎大学病院)
高 井 明 子	(宮崎病院)
田 崎 信 一	(長崎みなとメディカルセンター)
田 中 初 美	(長崎大学病院)
田 平 直 美	(長崎大学病院)
辻 林 玲 美	(宮崎病院)
鶴 田 加代子	(長崎みなとメディカルセンター)
中 田 弘 美	(佐世保市総合医療センター)
中 山 直 美	(長崎みなとメディカルセンター)
根 津 千佳子	(宮崎病院)
野 口 直 美	(佐世保中央病院)
藤 本 ひとみ	(佐世保市総合医療センター)
本 田 真 樹	(菅整形外科病院)
前 田 香代子	(長崎大学病院)
松 尾 明 子	(愛野記念病院)
松 本 祐 子	(長崎みなとメディカルセンター)
真 弓 五 月	(佐世保市総合医療センター)
山 口 則 子	(長崎労災病院)
山 口 美智子	(佐世保市総合医療センター)
山 口 理 恵	(長崎大学病院)
横 尾 香 代	(佐世保中央病院)
横 関 季理子	(長崎労災病院)
横 田 清 美	(愛野記念病院)
吉 次 サユリ	(宮崎病院)
吉 野 和 美	(佐世保中央病院)

※五十音順、()内は推薦時点での勤務先



令和7年度 三職能委員会 活動計画



保健師職能委員会

保健師職能委員長 稗園砂千子

保健師は、行政、産業分野、医療分野等と幅広い分野で活動しており、保健師職能委員会は、委員長以下 県、市町、企業、総合病院、健康事業団の8人の委員で構成しています。毎月1回の委員会は、働く組織の違う委員が、それぞれの組織・職場で保健師が取り組むべき健康課題について情報共有し、解決に向けた取り組みを一緒に考える場となっています。

保健師職能委員会の主な活動として今年度は、

1. 保健師ネットワーク会議の開催(8月2日)、
2. 保健師交流集会の開催(12月予定)、※新任期保健師交流会を兼ねる
3. 長崎県職場の健康づくり事業への協力
4. 県看護協会が開催する保健師の魅力発信イベントへの協力を計画しています。

昨年度は、保健師ネットワーク会議で人材育成・確保を見据えた学生実習の受け入れについて大学・市町保健師会と話し合いの場を持ち、本テーマについて発信する機会を持つことができました。

これからさらに人材確保が難しくなることが予測されますが、保健師職能委員会は様々な職域で働く保健師が集まる強みを活かし相互に連携しながら、小さな課題からでも取り組んでいきます。皆様のご参加をお待ちしております。

助産師職能委員会

助産師職能委員長 山本 直子

助産師職能委員会は、病院、教育分野に勤務する委員8名で活動しています。

「助産師はあなたのそばにいます…」助産師は母子保健と助産の専門職としての人の誕生から老年までのさまざまな健康課題にかかわっています。そのため、母子のみならず、女性の生涯における性と生殖にかかわる健康相談や教育活動を通して家族や地域社会に広く貢献し、その活動は育児やウイメンズ・ヘルスケア活動を包含しています。(公益社団法人日本助産師会:midwife.or.jp)。本年度、助産師職能委員会では、さらなる助産師としての質の向上と助産師活動の啓蒙活動のために、医療施設、地域での母子保健活動の実施と支援体制構築に向けた研修会等を計画しています。

1. 意思決定支援～全世代における患者・家族の人生の選択を支援する～三職能合同交流会
2. 特別な配慮・支援を必要とする妊産褥婦の支援交流会
3. 産後ケア事業に関する交流会 11月8日(土) 予定
4. 「国際助産師の日イベント」地域住民を対象とした母子保健活動:みらい長崎コウオークイベント会場
5. 性教育セミナーの開催(県内小学校、中学校、高校、関連施設)

内容の詳細については、随時お知らせします。皆様のご参加をお待ちしています。

看護師職能委員会

看護師職能委員長 峯 麻紀子

看護師職能委員会は、Ⅰ(病院領域)・Ⅱ(介護・福祉関係施設・在宅領域)の委員13名で活動しています。2025年度は、「①看護職が専門性を発揮するために、看護の原点に立ち返り看護実践能力を高め質向上を図る。②全世代の健康を支えるために、病院・施設・在宅部門それぞれの看護師の連携を強化する。」を目標に二つの研修・交流会を計画しました。

1つ目は、8/9に開催した「“気持ちよく出す”ことを叶える排便ケア～本人の力を引き出す排便ケア～」で、コンチネンスアドバイザーを講師に迎え、看護の原点に立ち返る排便ケアを学びました。下剤だけではなく食べ物やマッサージで患者の自立と尊厳を重視した気持ちよい排便を促します。講義の他、実際のマッサージを学習しました。

2つ目は、10/25に開催する「最期を迎える患者と家族との関わり～終末期や看取りの対応～」で、緩和ケア認定看護師から対象者に対する精神的支援や実際の援助方法・近年のエンゼルケアについて、また、遺体衛生保全士より葬儀場でのケアや遺体のその後の変化と家族の状況についてお話を伺い、病院と葬儀場の連携について考える企画です。

他にも看護師職能委員会では、看護の現場で行っている問題の情報収集・課題発見・意見集約などを行い、情報発信と課題解決に向けて取り組んでいますので、皆様のご参加をお待ちしています。

災害看護委員会主催 災害支援ナース交流会開催報告

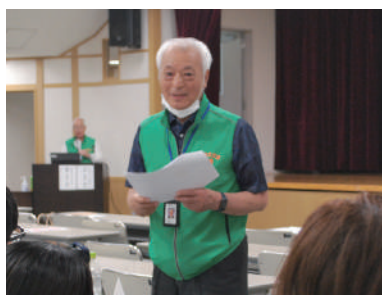
「演習を通して、災害派遣に備えることができる」 ～災害をイメージし防災につながる行動がとれる～

日 時 令和7年7月5日(土) 13:00～16:30

場 所 ながさき看護センター



日本防災士会 長崎県支部
川浪 良次 氏



日本防災士会 長崎県支部
瀬崎 弘幸 氏



外海弘仁会 日浦病院
感染管理認定看護師 濱田 恵理 氏

災害支援ナース交流会では、看護職26名の参加があり、そのうち災害支援ナースは13名参加していた。今回は、「避難所運営ゲームHUG」と「災害時における感染対策について」交流会が実施された。

「避難所運営ゲームHUG」では、日本防災士会長崎県支部の支部長 川浪良次 氏や瀬崎弘幸 氏より指導を受け、ながさき看護センターの会議室を避難所と想定して、避難してくる人たちをどのように配置(移動)させるか、グループワークを行った。また避難してくる時の想定には、ペット同伴だったり、病気の人がいたり、それをどのように対応するか意見を出し合いゲームを進めていた。

「災害時における感染対策について」では、講演の冒頭、日浦病院の感染管理認定看護師の濱田 恵理氏の小学生時に経験した宮城県沖地震(1978年)の話もあり、当時も今も避難所の様子はあまり変化がなかったことについて驚きをもって聞いた。濱田氏は、フローレンス・ナイチンゲールの看護の覚書を引用し、感染対策の基本は「環境整備」であることを説明したうえ、避難所における感染対策について講義された。また、災害支援ナースは「感染対策の調整役」として、専門的な技術指導が可能であると話された。

講師の二人が共通して話されていたことで、「災害時のトイレ対策」が特に印象に残った。「腹が減ってご飯は我慢できても、トイレ(排泄)は我慢できない」「避難所の感染はトイレと吐物から始まる!」それぞれがトイレ問題について考え、備えることが必要だと感じた。



災害支援ナースとは

被災地等に派遣され、地域住民の健康維持・確保に必要な看護を提供するとともに、看護職員の心身の負担を軽減し支えることを行う看護職員のことであり、厚生労働省医政局が実施する災害支援ナース養成研修を修了し、厚生労働省医政局に登録された者の総称である。

長崎県 災害支援ナース養成研修修了者 81名(令和7年8月現在)

特定行為研修修了者のお仕事紹介

長崎大学病院 戸北 正和

特定行為研修修了者の紹介
シリーズ最終は、長崎大学病院で
実際の研修にも携わっておられる
戸北 正和 さんです。

受講しようと思った理由

特定行為研修を受講する前は、皮膚・排泄ケア認定看護師の資格を活かして、褥瘡専従看護師として院内で横断的活動をしていました。認定看護師として活動していく中で、褥瘡保有者に対する壊死組織の除去は、これまでは医師が業務の空いた時間を見計らってデブリードマンを実施していた状況でした。「患者さんを待たせることなくデブリードマンできたら早くよくなるのに…」とずっともどかしさがありました。そのような中で、厚生労働省から医療介護総合確保推進法の改革で、チーム医療の推進が示され、平成27年10月に「特定行為を行う看護師の研修制度」が創設されました。特定行為手順書によってタイムリーにデブリードマンができるようになれば、医師のペースではなく患者さんのペースで待たせることなく対応ができるため、褥瘡ケアが滞ることなく早期治癒に結び付けられるのではないかと考えたのがきっかけです。

具体的な活動

特定行為研修の運営の傍ら、横断的に創傷管理関連、創部ドレーン管理関連、腹腔ドレーン管理関連などの特定行為を実践しています。特に皮膚・排泄ケア特定認定看護師分野では、形成外科、消化器外科、産婦人科からのコンサルテーションがよくあります。形成外科からは、褥瘡に対してのデブリードマンの依頼。消化器外科や産婦人科からは、手術部位感染（SSI）に対して、陰圧閉鎖療法（NPWT）の適応の可否についての相談があります。消化器内科では、患者さんからのご指名で胃ろうカテーテルの交換を実施する場合があります。特定行為研修修了者は、「特定行為の手技をする看護師」と捉えられがちですが、実はそうではありません。実践的な理解力、思考力、判断力、高度かつ専門的な知識、技能を活かして、患者さんのQOL向上の為に、倫理的かつ科学的根拠に基づき効果的、効率的、タイムリーに実施することで患者さんのQOL向上に寄与することを目的に日々活動しています。

貴院の取組

長崎県内唯一の大学病院として、約30弱の診療科を有しています。特定行為を実践するにあたり、特定行為は診療の補助（医療行為）であるため安全に実施できる体制づくりが必要です。病院で統一した安全管理体制を構築するために、安全管理部長や診療科長などにも特定行為管理委員会の委員になっていただき、病院全体で特定行為を安全に実施できる体制を整備することができました。特定行為を実践する上で手順書の承認を各診療科から得ることに大変苦労しました。当初は同じ特定行為は一つに統一した方が煩雑にならず分かりやすいと考えていました。しかし同じ特定行為を実施するにしても診療科によっては、作法が違い、統一するのに苦労しました。同じ特定行為でも一般病棟、高度救命救急センター、集中治療部、手術部などのユニット系で、特定行為の手順書をユニット別に分けることで問題が解決し、特定行為実践の円滑な運用に繋がっています。また、特定行為を実施した後の医師からの記録の承認機能と代行オーダーの機能を電子カルテに取り入れて運用するようにしました。これによって特定行為が滞ることなく、タイムリーに特定行為が実施できるようになりました。

これからの展望

私が修了した特定行為だけではなく、病院内で活動する特定行為研修修了者の活用を考えた場合に、特定行為研修修了者を院内に増やして集約配置をすること。これによって24時間体制で特定行為研修修了者の勤務が実現します。夜間や休日にも対応できる体制が整えば、昼夜問わず患者さんの急変時やケアの質向上に寄与すると考えています。また、特定行為研修修了者が臨床教育や後進育成のロールモデルとなることで、看護の専門性全体が底上げされると考えています。

会員に向けたメッセージ

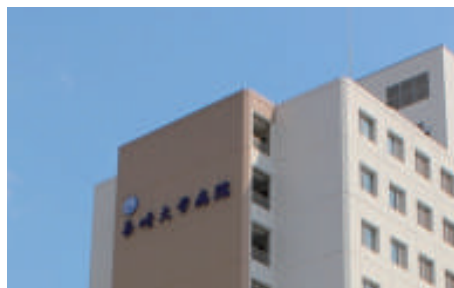
2040年問題を解決する鍵として、特定行為修了者は医療の質を維持・向上する上で必要不可欠な存在だと思っています。同じ仲間として、特定行為研修修了者を目指しませんか。



看護師特定行為研修

長崎大学病院

長崎大学病院特定行為研修では、「見る」、「診る」、「見る」をキャッチフレーズとして、看護の視点、診療の補助の視点、社会的背景を通じて3つの愛(eye)を養い、高度かつ専門的な質の高い医療を提供できる特定看護師の育成を図るとともに、人間性を重視した特定行為を実践する看護師を目指した教育をしています。



見る・診る・見るのトリプル



授業科目について

授業科目は、大きく共通科目と区分別科目に分けられます。全ての特定行為に共通するものの向上を図るための研修であって研修生全員が受講します。一方区分別科目は、全ての特定行為区分毎に異なるものの向上を図るための研修で希望した特定行為区分を受講します。共通科目が終了してから区分別科目に進む流れとなります。

共通科目	時間数	区分別科目	時間数	創部ドレーン管理関連	6時間+5症例
臨床病態生理学	31 時間	呼吸器（気道確保に係るもの）関連	9時間+5症例	動脈血液ガス分析関連	13 時間+ 10 症例
臨床推論	45 時間	呼吸器（人工呼吸療法に係るもの）関連	29 時間+ 20 症例	栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連	16 時間+ 10 症例
フィジカルアセスメント	45 時間	呼吸器（長期呼吸療法に係るもの）関連	8時間+5症例	腹腔ドレーン管理関連	8時間+5症例
臨床薬理学	45 時間	ろう孔管理関連	22 時間+ 10 症例	栄養に係るカテーテル管理（中心静脈カテーテル管理）関連	7時間+5症例
疾病・臨床病態概論	41 時間	創傷管理関連	34 時間+ 10 症例	在宅・慢性期領域パッケージ	61 時間+ 20 症例
医療安全学 / 特定行為実践	45 時間				
合計	252 時間				

演習・実習・OSCE

長崎大学病院の講師陣の特徴は、他の研修機関とは少し違い、各診療科の専門の先生から臨床経験を交えながら丁寧に指導してもらえるため、専門分野ごとの知識が深まります。特に臨床推論やフィジカルアセスメントは、特定行為研修修了者が患者役となるため、研修生の思いを理解しながら実臨床に近いリアルな演習・実習を受けられます。



具体化した教育の特徴

- ・「特定行為を活かした看護」を提供できる総合力のある看護師を養成しています。
- ・看護の視野を広げ「専門性を再獲得」するための研修制度の活かし方を指導しています。
- ・医療従事者同士の「あ・うん」を言語化・具体化・体系化し、チーム医療を活性化させる教育しています。
- ・研修中から安心・安全の医療を提供するための組織支援体制の構築を指導しています。
- ・一歩踏み込んだ看護を実践していけるような教育プログラムを提供しています。

おわりに

2040年問題を迎えるにあたり、特定行為研修修了者（特定看護師）は、医療の質と安全を支えるキープレイヤーとなります。是非、特定行為研修受講を考えてみてはいかがでしょうか。

GOOD
JOB!

地区支部だより

「看護の日」記念行事、
各支部の活動やお知らせをお届けします

県南支部

支部長 糟谷 操子

5月10日(土)に看護の日記念事業として昨年度に引き続き、浜町ベルナード観光通りにおいて「看護の心をつなげよう」というテーマで開催しました。地域住民の健康生活に必要な知識・技術並びに「看護のこころ」の普及啓発を目的とし、多くの地域の方々の参加がありました。看護師を志す高校生に対しても心肺蘇生などの体験を通して看護の魅力を伝える機会となりました。5/11には「春フェス 春の健康祭り」で元気が一番たい! 健康祭りというテーマで血圧測定と血管年齢測定などを行いました。健康についての相談や指導の場もあり、地域の方とのふれあいの大切さを改めて感じました。今後も地域住民の健康増進の意識向上のため、県南支部委員一同で支部活動を継続して参りますので、皆様のご理解、ご協力をお願いいたします。



▲まちの保健室



▲三角巾利用法



▲AED 体験

県央支部

支部長 中尾 理恵子

5月10日(土)ながさき看護センターにて「看護の日 ザ・いさはや」の行事を開催しました。参加者は210名でした。6名の高校生によるふれあい看護体験の発表では看護職への期待が膨らんでいるのを感じることが出来ました。ふれあい看護体験に関わって頂いた施設には感謝申し上げます。出店は福祉施設から商品販売、こころの喫茶店、フットケア、看護協会まちの保健室など賑わいました。また、防災士の川浪良次さん「災害から備えを学ぶ—自分の命は自分で守る」、災害支援ナース辻林玲美さん「災害支援ナースって知っていますか?」、DPATの荒木直人さん「災害支援者のメンタル支援について」を講演していただき、災害に対する意識が高まりました。また災害支援ナースやDPATについての知識や関心は広がったようです。地域の方々にも役立つ内容でした。また別のブースでは「看護師への道」の動画を流し、県央支部内の病院や施設についての掲示で足を止めて興味深く見て頂き、イベントは成功裏に終えることが出来ました。



県北支部

支部長 橋本 康代

5月10日(土)に「看護の日フェスタ」を開催しました。当日は幅広い世代の方が来場され、各ブースの体験を楽しまれていました。中でも人気だったのは「血中酸素濃度測定体験」「看護協会まちの保健室」「白衣試着体験」でした。「白衣試着体験」では、子供用ナース服を始め実際に病院で着用している白衣を準備しました。小さなお子様や高校生にとっても人気で、かんごちゃんパネルと一緒に記念撮影を行い、賑やかな時間となりました。

また「看護協会まちの保健室」では、血管年齢測定・血圧測定など自身の身体状況や、健康維持に必要な食事管理について関心を持たれ、準備していた症状別の食事療養パンフレットを持ち帰られる方が多くいらっしゃいました。

6月8日(日)は佐世保市歯科医師会主催のデンタルフェスティバルに「看護協会まちの保健室」として参加しました。123名の方が来場され、お子様連れやご夫婦での参加も多く各ブースを楽しまれていました。こちらのイベントでも、健康に関する関心の高さがうかがえました。

今後も啓発活動を通して多くの市民の皆様へ、健康増進や看護の魅力を広めていきたいと思ひます。



下五島支部

支部長 江口 美子

5月10日(土)ごとう農業協同組合様のご協力のもと、産直市場「五島がうまい」の店頭前で、看護の日記念事業を開催することができました。主に年配の方には、血圧測定後に現在の健康に関する悩みなどを聞き健康相談を行いました。また子供達には、手指消毒の手順を♪グーチョコキパーでなにつくろう♪の手遊び歌を替え歌にして、一緒に歌いながら手指消毒の手順を伝えました。地域の方々の日頃からの健康に関する意識や、感染防止対策への意識向上に少しでもお役に立てたらという思いで行いました。店頭前には、農協主催イベントや地元キッチンカーの参加もあり、一緒に看護の日記念事業を盛り上げて頂きました。地域の皆さんと共にイベントを開催できたことで、長崎県看護協会下五島支部一同感謝した一日でもありました。これからも地域のために共に活動し、看護の心を皆さんの心に届けて行けたらと思っています。今後ともどうぞよろしくお願い致します。



上五島支部

支部長 法村 円美

上五島支部では、5月10日(土)にメルカピィ・あおかたで、「看護の日記念行事」として“まちの保健室”を開催しました。血圧測定、体脂肪測定、手指衛生の指導、健康相談、かんごちゃんグッズを配布しました。季節柄、様々なイベントと重なり来訪者は少なめでしたが、小学生や高齢者から「看護師さんてこんなお仕事しているのね」と関心をもって頂く機会となりました。今回は体脂肪測定へチャレンジする方が多く、結果をみて歓喜の声が聞かれていました。

今後の予定を紹介します。

6月：上五島病院フェスタで“看護協会まちの保健室”開催！

7月：皮膚排泄ケア認定看護師による“皮膚・排泄ケアの基本、スキンケアを見直そう”支部研修会！

8月：次世代を担う高校生を対象に“ふれあい看護体験”！

9月：離島間通配信研修会“看護職の生涯学習ガイドライン”！

等々 様々な活動を通して地域の皆さまとふれあいながら看護の魅力をお伝えしてまいりたいと思います。



壱岐支部

支部長 末永 美幸

壱岐支部では5月11日(日)看護の日記念行事として壱岐市最大イベント春の市において、看護協会まちの保健室を実施しました。昨年は大雨にみまわれ、中止となりましたが今年は天気もなんとか持ちこたえ、血圧測定、体脂肪率測定等を行うことができました。市民の皆様より健康に関しての相談もあり、地域の方とのふれあいの大切さを感じました。

6月にはサイクルフェスタが開催され、6月15日には壱岐市剣道大会にて救護員派遣を行い、壱岐支部として今後も地域のイベントや健康づくりキャンペーン等にも積極的に参加したいと思います。

今後研修予定

①7月17日(木)18:30～19:30 看護職交流会 テーマ「スキンケアについて」

②9月27日(土)14:00～16:00 離島間通配信 テーマ「看護職の生涯学習ガイドライン」



対馬支部

支部長 福島 利恵

4月に健康増進課が企画する渚キラキラウォーク、5月には南地区保健センターが企画する城下町ウォーキングに、「看護協会まちの保健室」として参加しました。

「看護の日イベント」としては、対馬病院開院10周年の病院フェスタに、看護協会まちの保健室を設置し、血圧測定と健康相談、健康手帳やグッズの配布を行いました。フェスタは、地元高校生の吹奏楽部の演奏にはじまり、家族連れなど671名が訪れました。看護協会まちの保健室には156名に立ち寄ってもらえました。ナース服試着コーナーや手術室体験、沐浴体験、手洗い体験など、看護部が出したブースも盛況で、子供たちと触れ合うことができました。総合薬局や保健所、保健センターのブース、地元飲食店ブース、ハンドメイド雑貨のマルシェなど地域住民との交流もでき、参加した看護協会会員も、とても楽しかったです。



みんなで話そう 看護の出前授業



7/23（水）長崎県立諫早高等学校において、諫早総合病院から派遣された保健師、助産師、看護師3名による特別授業「みんなで話そうー看護の出前授業」が開催されました。

看護職に興味がある30名以上の生徒の皆さんにご参加いただき、講師の方々より、仕事の紹介や看護の実際についての講義、血圧測定、聴診の体験、胎児や新生児の人形を抱いてもらいました。講義では現場での出来事など教科書には出てこない話になると、生徒さん達の集中力が増した印象を受けました。体験はとても和やかな雰囲気皆さん楽しそうに体験されていました。最後には質問タイムも設けられ、血が苦手だけど看護師になれますか？実習がきついとききましたけど、実際はどうですか？夜勤では怖い出来事があるのですか？など活発な質問がされていました。



▲諫早総合病院
左から看護師、保健師、助産師の方々

生徒さんへ「看護の出前授業に参加してみようと思ったのはなぜですか」と質問したところ、「医療の仕事に興味があった」「医療系の大学にすすみたい」などの声がありました。

実際に出席授業を受けてみての感想では、「やりがいがありそう」「夜勤は大変そう」「カッコいい」「実体験が参考になった」「3人の講師の方に聞くことが出来て満足度が高かった」などの声が聞かれました。一方、患者さんとのコミュニケーションや血をみるのが怖いなどの意見も聞かれました。

高等学校の教諭からは「出席授業では生の声を聞ける良い機会になったと思います」と感想がありました。

講師の方々より、「看護職を目指したい生徒さんではなく、興味をもった生徒さん対象というのは初めてだった、助産師にとっても興味をもってもらったのは良かった」というお声がありました。



取材後記

今回の出席授業のようにちょっとの興味から看護の実際をのぞき見してもらい、看護職を目指すきっかけになってもらえると嬉しいです。諫早高校の参加して頂いた生徒さん、出席授業を呼んで頂いた先生方、講師の皆さま、取材を受けて頂いてありがとうございました。

研修情報

2025年11月～1月の研修情報をお知らせします。研修の詳細とお申込みについては、マナブルをご確認ください。

研修一覧検索&
研修申込サイト
manaable



月	研修No.	研修名	開催期間	申込期間
11月	2539	糖尿病看護に役立つヒント ～インシデント事例から学ぶ～	11/3 (月・祝)	9/1 (月)～9/30 (火)
	2540	がん患者の自分らしい生活を支えるために	11/6 (木)	
	2541	New 迷っていませんか?看護職としての自身の方向性 ～まなびサポートブックからのヒント～	11/7 (金)	
	2542	危機的状況における家族ケア	11/13 (木)	
	2543	予兆を察知!脳血管障害に必要なアセスメント	11/21 (金)	
	2544	消化器領域の検査データの見方・活かし方	11/22 (土)	
	2545	New ペイシェントハラスメントの予防・対応	11/29 (土)	
12月	2546	循環器領域の検査データの見方・活かし方① [心電図編]	12/3 (水)	10/1 (水)～10/30 (木)
	2547	事例で学ぶ慢性心不全患者の看護	12/10 (水)	
	2548	New 場面に応じたアドバイス・ケア・プランニング (ACP)	12/12 (金)	
	2549	外来における在宅療養支援能力向上のための研修	オンデマンド受講期間: 受講者に提示 集合研修: 12/13 (土)	
	2550	はじめてのプリセプター ～新人の一番近くに～【第1回】	12/16 (火)・17 (水)	
1月	2551	はじめてのプリセプター ～新人の一番近くに～【第2回】	1/13 (火)・14 (水)	11/1 (土)～11/30 (日)
	2552	循環器領域の検査データの見方・活かし方② [画像診断編]	1/21 (水)	

長崎県委託事業による研修

月	委員会名	研修名	開催期間	詳細
11月	2562	長崎県介護施設等の看護実務者研修	11/17 (月)・18 (火)・19 (水)	別途案内、ホームページ で確認し、お申し込みく ださい。
	2563	長崎県看護職員認知症対応力・実践力向上研修	11/8 (土)・9 (日)・15 (土)	

委員会主催交流会 (10月～1月)

委員会主催の交流会については、会員無料で参加できます!
この機会にぜひ参加して、スキルアップしていきましょう。

月	委員会名	研修名	開催日	申込方法等
10月	助産師	特別な配慮・支援を必要とする妊産婦の支援交流会	10/18 (土)	お申込み・詳細については、 ホームページをご覧ください。 【お問合せ先】 総務部 0957-49-8050
10月	看護師	看護師職能I・II合同研修会・交流会 最期を迎える患者と家族の関わり ～終末期や看取りの対応～	10/25 (土)	
11月	助産師	産後ケア事業に関する交流会	11/8 (土) 予定	
12月	安全管理	医療・介護施設の安全を考える交流会 病院内の防犯対策	12/6 (土)	

会員の広場

テーマ：私の推し

40代、女性、Kさん

「私の推し」は、愛犬のペロです。

ビーグル2歳、食べるの大好きおてんば女子です。

家の壁や自分のお布団、おもちゃなんでも噛んで壊します(笑)

今、お気に入りペットボトルの蓋を開けて遊ぶことです!

庭に侵入してきたイノシシには敏感で、吠えて活躍してくれます。家族を楽しませてくれて、癒やします。



会報 nna への投稿募集!

会員の皆さんの声を会報 nna に投稿してみませんか?

広報出版委員会では、会員の皆さんのお便りを募集しています。抽選で2名様に、かんごちゃんのポーチをプレゼントします。※当選者の発表は、商品の発送をもって代えさせていただきます。

【テーマ】私の推し

[掲載紙] 会報 nna 1月、5月、9月発行

[投稿方法] ①または②の方法で投稿してください。

①右記QRコードを読み取って、ご入力をお願いします。

②下記メールアドレス宛に、氏名、会員番号、年齢、性別、メールアドレス、投稿内容(400字程度)を入力して送信してください。写真などの添付も可能です。

匿名で、年代と性別を掲載します。メール: nna@nagasaki-nurse.or.jp



病院紹介

Hospital introduction

医療法人 心々和会

サン・レモ リハビリ病院



～医療法人心々和会のロゴマーク～

「心」の文字をモチーフに、青は患者様と病院が支え合う信頼関係と海に面した佐世保をイメージしています。オレンジは太陽を表現し、明るい未来が来るように思いを込めました。黄色は、月明りで照らすような優しい気持ちに溢れた病院を表しています。



当院は1993年5月に開設され、令和5年に30周年を迎えました。5病棟の医療療養病棟から構成された216床の慢性期病院です。

当院の場所は佐世保市南部の江上大島にあり、周りを海で囲まれ病室からは病院名の由来である地中海サン・レモのような大村湾やハウステンボスが一望にでき、長期間療養するのに最適な病院です。

慢性期病院として急性期を過ぎた患者様や高齢となり、住み慣れた自宅や地域で生活することが困難な患者様をスムーズに受け入れ、治療・看護・介護・リハビリテーションを継続する役割があります。看護部は「質の高い看護・介護の提供」を理念に掲げ、安心して療養できる環境づくりを目指しています。そのためには、認知症対応力の向上、ターミナルケアの質の向上、意思決定支援の基本であるコミュニケーション能力を全職員が身に付けることが課題であると考え、日々努力しています。

今後も患者様やご家族から「入院してよかった」と言っていたりするような看護サービスを提供していきます。

3階病棟



5階病棟



食前体操



4階病棟



看護部長・外来・
地域連携室・居宅



B病棟



A病棟



長崎県
看護協会
公式LINE



▲ともだち登録はコチラから

友だち
とうろく
お願いね♡

